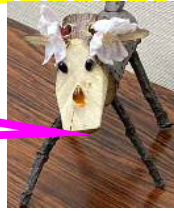


すがもらいぶらり

2022年5月5日 巣鴨図書館発行

すがもがーでんクイズ

緑色の植物は何？
そして、ミニひまわり
のような花は何の花？



② 写真
① アスピア

すがもがーでんで、一見ほったらかしのよう、見える育ち過ぎた植物たち…
実は、「種を採取しよう」とか「収穫せずに置いておく」とどこまで育つかのかを観察しよう」とかを目的にしています。



じぞうくん

桜の季節も終わり、
緑が目まぶしい季節
になりました。

イラスト作 S

5月の行事

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
新刊 お話し会	休館					
8	9	10	11	12	13	14
★新刊 お話し会						
15	16	17	18	19	20	21
新刊 お話し会						
22	23	24	25	26	27	28
新刊 お話し会					休館	
29	30	31				
新刊 お話し会						

<日曜>新刊本が出ます！。
新刊コーナーにご注目！
11時から、幼児から小学生低学年
向けのお話し会もしています。

8日は、図書館前庭で
「おそとでわくわくおはなし会」
を予定しています。

編集後記

入口に「図書館からのお
たより」コーナーがで
きました。

「すがもらいぶらり」
「図書館通信」
とともに、ご紹介してい
る本も置いています。



俳句はじめてみませんか ～句会ってなあに？編～

俳句をはじめするには、まず歳時記を手元に置いて、好きなように一句詠んでみればよいのです。
でも、続けていくうちに気になってくるのが句会。
句会とは無記名で句を出し合い、好きな句に点を入れていく批評会のようなものです。
初心者にとってはかなり高いハードルですね。
知らない人たちに混じって、自分の句が俎上に載せられる恐怖！！恥をかくのでは？叱られちゃったりするのかな？
(実際はそんなことはありませんよ。)

そんな人見知りのあなたにオススメなのが、**ネット句会**です。コロナ禍では、ほとんどの句会がインターネット上で行われることになりました。場所に縛られずに、気軽に楽しめるのが魅力です。

あともう一つ、**作らない句会**というのがあります。自作の句を持ち寄ることなく、ただ他人の句に投票するスタイルです。

句会ライブとして公開されているものもあり、小説家の長嶋有さんもメンバーである「東京マッハ」というライブは、不定期でありながら毎回満員御礼。ゲストに招かれた詩人や小説家、漫画家の方々が句を披露してくれるのも目玉の一つです。「東京マッハ」は最近、書き起こしの書籍になりました。句について好き放題言い合う楽しさに触れてみませんか。堅苦しい俳句のイメージが変わると幸いですよ！

初夏の一句

こだま
欲して山ほととぎすほしいま、
杉田久女

～オススメ本～

『東京マッハ俳句を選んで、
推して、語り合おう』
千野帽子／著 長嶋有／著 堀
本裕樹／著 米光一成／著
晶文社 911.3ト
『芸人と俳人』
又吉直樹／著 堀本裕樹／著
集英社 911.3マ

食いしん坊司書の部屋



巣鴨図書館の
食いしん坊仲間が
また一人増えました

食べるの大好き！巣鴨図書館に6年ぶりに戻ってきた司書です。
どうぞよろしくお願い致します。

食べるだけではなく作るのも好きな私は、旅先で食べて美味しかったものを自分で作ってみたりもよくします。レシピを調べたり思い出したり予測したりして再現できる場合もあるし、記憶と全然違うものになって惨敗する場合もあるし、長年作り続ける過程でアレンジが入りもはや原型をとどめていない自分レシピもあつたりします。

イギリスで食べたChicken Kiev（チキンキエフ）も定番&思い出の味です。もう20年以上前ですが、この料理を初めて食べた時の感動は忘れられません。外はカリッとしたチキンカツを切ると、しっとりした鶏むね肉の中からガーリックパセリバターがたっぷり出てきて、あまりの美味しさに早速真似しました。このレシピは起源が諸説あり、発案者がフランス人とも言われています。私が食べた店は庶民的なイギリス料理の他にイタリア風やロシア風のメニューがありバラエティ豊かだし、お客も経営者もコックニー（ロンドン弁）を使う人が達。よく考えずに入店した私は面食らいましたが、そういえばこのお店のある場所は有名なサッカーチーム『チェルシー』のある地区で、このチームのオーナーはロシア人。流石、多国籍の街。ロンドンっ子が集まる地元料理店におじゃましてキエフ（キーフ）の名がつく料理を食べる日本人の図。こういったシチュエーションを体験できるのも旅の醍醐味です。

海外旅行はちょっと難しい状況ですし、ウクライナは大変な時なので、本の中だけでも楽しい味旅行をしてもらえそうなものを選びました。行った事のある場所や食べた事のある料理について感動を追体験したり、自分と違うなと思ったり、新たな場所や料理に興味を持ってもらえたりしたら嬉しいです。

おすすめ本

『イギリスはおいしい』 林望／著 文藝春秋
【B 八】 上池袋・池袋所蔵
『巴里の空の下オムレツのにおいは流れる』
石井好子／著 河出書房新社 【596.0 イ】
巣鴨・池袋所蔵 ★レシピ集も所蔵しています。
『クックズ・ツアー』 アンソニー・ボーデン／著
野中邦子／訳 土曜社 【596.0 ホ】 巣鴨所蔵
『旅に出たナツメヤシ』 長坂道子／著
KADOKAWA 【596.04 ナ】 中央所蔵

じぞうくんのそばくな疑問



じぞうくんの所にやってきた
かも君。
何やらいつもと少し
様子が…



かも 僕は過去を振り返らない鴨。前だけを向いていた
鴨なのだ。

じぞう ……どうしたの？

かも 実は先月号の原稿が間に合わなかったのだ。鴨仲間
で作っているフリーペーパーで、『ぐらりらい
ぶらり』っていうんだけど。まとめ役のMさんに
迷惑をかけちゃったんだ。

じぞう それは落ち込むね。そういえば締め切りについて
のエッセイがあったなあ。あ、これこれ『×切
本』だ。夏目漱石、江戸川乱歩、星新一、小川洋
子、など時代関係なく、文豪たちの足掻きが見る
ことができてるよ。

かも うん。勇気が湧いてくる。

じぞう 偉人の方たちが締め切りを破っているから、と
言って、破っていいわけではないからね！肝に銘
じてください。

かも はい！！

じぞう 第一、偉人たちは締め切りを破っても、おつりが
くるくらいの原稿を提出しただろうけど、君はそ
この辺りはどうなの？

かも グワッ！もう絶対締め切りは守るカモ！！

じぞうくんがよんだ本はこちら

『×切本』
左右社編集部／編（シメ）
『×切本2』
左右社編集部／編（シメ）

今月のスペシャル ～平和ってなんだろう～

5月15日までの特集です。
平和について考えてみませんか？
ウクライナやロシアの絵本などを展示しています。



こんな本を
紹介しています。

ご紹介している本

『わらのうーウクライナの昔話-』 内田莉紗子／文
ワレンチン・ゴルディチューク／絵
福音館書店 E3ワラ
『空とぶ船とゆかいななかま-ウクライナの
むかしばなし-』 バレリー・ゴルバチョフ／再話・絵
こだまともこ／訳 光村教育図書 E3ソラ
『いっしょにおいでよ』 ホリー・M. マギー／文
パスカル・ルメートル／絵 なががわちひろ／訳
廣済堂あかつき Eルメ
『DOOR-208の国と地域がわかる国際理解地図-
2 ヨーロッパ』 地図情報センター 290